

1 単元名 Do you have an emergency bag?

(Let's Try!2 Unit5 Do you have a pen? 文部科学省)

2 単元の目標

ALTに防災バッグの必要性について知ってもらうために、自分が必要だと思う防災バッグの中身について、相手に伝わるように配慮しながら、工夫して伝え合うことができる。

(話すこと【やり取り】(イ))

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (やり取り)	<知識> 文房具などの学校で使う物や防災バッグの中身の言い方や、Do you have～? I have～. の表現について理解している。 <技能> 文房具などの学校で使う物や、防災バッグの中身を Do you have～? I have～. 等の表現を用いて、伝え合う技能を身に付けている。	ALTに防災バッグの必要性について知ってもらうために、その中身について、伝わるように自分の考えや気持ちなどを加えて伝え合っている。	ALTに防災バッグの必要性について知ってもらうために、その中身について、伝わるように自分の考えや気持ちなどを加えて伝え合おうとしている。

4 単元設定の趣旨

本単元は、児童の身近な物である文房具などを題材にし、友達同士で持ち物を尋ねたり、答えたりする単元である。今年度の第4学年の総合的な学習の時間では、地震や津波から命を守ろうという活動を進めてきた。年明けに起こった能登半島沖地震や、今後必ず起こるであろう南海トラフ大地震など、生活の中で児童が地震や津波について知ったり、身近に感じたりすることが多くある。総合的な学習の時間では、児童たちは、防災グッズに必要な物を3つ決め、実際にそれらを防災バッグに詰め、背負った時の重さを体感したり、本当に必要なのかと思考を働かせたりすることで、実生活につなげ、防災意識を高めてきた。そこで、カリキュラム・マネジメントの視点で総合的な学習の時間と、英語学習をつなげ、地震についてあまり知識のない、イギリス出身のALTに向けて、地震が起きた時のために必要な物に気付いて知ってもらいたいという思いから、単元ゴールを「ALTに防災バッグの必要性について知ってもらうために、その中身について、伝わるように自分の考えや気持ちなどを加えて伝え合うことができる。」と設定した。その際、なぜ必要なのかその理由や気持ちも伝えることで、ALT自身に防災バッグの中身を準備する際の参考にしてもらいたいと考えている。

本学級の児童は、第4学年“Hello, world!”において、自分の好みや嫌いなものを伝えるために、I like～.やI don't like～.などの表現を学習してきたが、既習表現を使って自分の考えや気持ちを言い換えたり、会話を継続したりすることに課題が見られる。そこで、本単元の学習を通して、相手の発話を繰り返したり、質問をしたりすることで、会話が継続していくことに気付かせたい。

単元の学習で中心となる言語材料は、Do you have～?と I have～. である。このような言語材料を児童の身近な文房具を使って、I have～. 等の言い方に慣れ親しんだ後に、防災バッグの中身についてそれらの表現を用いて伝え合う活動を行う。本単元では、筆箱の中身を尋ねたり答えたりする Do you have～?/ I have～. 等の表現や既習表現・気持ちを伝える表現を使うことで、なぜそれが必要なのかということや自分にとって必要な物と友達にとって必要な物が違うという事に気付かせたい。児童はやり取りを行う中で、同じ物を選んでいても理由が違うことに気付き、理由を伝えたり尋ねたりすることの大切さを感じるであろう。単元の前半では、文房具などの学校で使う物について、I have～. を使って言い表し、その中から自分が持っている筆箱の中身を伝え合う活動を行う。単元の後半では、防災バッグの中身を Do you have～?/ I have～. を使って伝え合う。その際、Chromebook を使い、文房具や防災グッズのイラストカードを wordlist にしてまとめ、クラウドに保存し、また、その wordlist の各単語には、ALT の発音動画を付け、発音も自由に再生できるようにしておくことで、児童が自身の必要なタイミングで視聴することが可能となるようにしたい。質問リストや、様子リスト、気持ちリスト、あいづちリストなど、会話を広げられるような表現もクラウドに保存しておくことで児童の会話も深まるであろう。また、自分では思いつかないような表現や、言い換えることができないような表現も出てくると思われる。そういった場面では、授業内で記録として撮影している動画を児童間で共有することにより、友達の言い方をまねしたり、アレンジしたりするなど、自分で多様な表現を獲得できるよう ICT を活用していく。防災バッグの中身に関する単語は4年生にとって聞き慣れない語句であるため、英語の時間だけではなく、総合的な学習の時間でも紹介し、日々触れていくようにする。児童は防災学習を進めていく中で、避難生活に必ず必要な物と生きていく上で必ず必要ではないが、自分や家族の心を支える物があることを知り、様々な思いを共有した。児童は、新たに防災グッズとして、必要な防災グッズに加えて持っていきたい物を伝えたいという気持ちが高まっているので、本時では、前時に伝えた「自分にとって必要な防災グッズ」に加えて、心を癒す物や自分の趣味に関する物について、理由や自分の気持ちを伝え合う活動を行う時間にしていきたい。本校は、文部科学省指定の教育課程特例校であるので、4年生で外国語科の目標達成を目指して授業に取り組んでいるが、児童の発達段階や現状を考慮して、ジェスチャーなどを使うと、より相手に伝わるという事にも気付かせたりして、意欲的なコミュニケーションを目指していきたい。

5 小学校における学びのつながり

学年	領域	単元（題材とのつながり）	Can-Do のつながり
4年生	【話すこと】 （やり取り）	Unit5 ; “ Do you have a pen?”	イ) 自分の持っている文房具や防災グッズについて、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。
	【話すこと】 （やり取り）	Unit8 ; “ This is my favorite place.”	イ) 自分が気に入っている校内の場所について、イラストや写真を見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。
5年生	【話すこと】 （やり取り）	Lesson5 ; “ When is your birthday?”	ウ) 誕生日や欲しい物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり質問に答えたりして、情報を伝え合うことができるようにする。
6年生	【話すこと】 （やり取り）	Lesson3 ; “ What time do you get up?”	ウ) 1日の過ごし方について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。

6 単元の指導計画と評価計画（7時間）

時	目標	主となる学習活動 【クラウドを活用する場面】	評価規準		
			知技	思判表	態度
1	文房具の言い方を 知り、自分の筆箱 の中身について伝 え合うことができ る。	○単元の見通しをもたせる。 ○ALT' s Talk 「防災バッグの中身」 ○児童自身にとって必要なものである文房具などの学校で 使う物の言い方や、I have～. の言い方を知り、お互い の筆箱の中身を伝え合う。【文房具の提示（児童用 Chromebook）】 ○文房具の中身を伝え合う。【Let' s Try p20】 【児童のゴールの姿】 A: This is my pencil case. I have ～. Do you have ～? B: Yes, I do. And I have ～. Do you have ～? A: No, I don' t. B: (あいづち). Thank you. <引き出したい振り返り> C:I have～.を使うと、自分の持ち物が伝えられました。 次は文房具以外も伝えてみたいです。			
2	自分の筆箱の中に あるお気に入りの 物について、その 理由と気持ち・様 子を伝え合うこと ができる。	○Teacher' s Talk 「筆箱の中身」 ○Small Talk 自分の筆箱の中身を、その個数とともに紹介する。 ○自分の筆箱の中にあるお気に入りの物と、その理由を伝 え合う。【筆箱の中身の掲示（児童用 Chromebook）】 ○やり取りの様子を友達と撮影し合う。【動画撮影（児童 用 Chromebook）】 【児童のゴールの姿】 A: This is my pencil case. I have a blue pen. B: Why? A: I like blue. Do you have a blue pen? B: Yes, I do. Me, too. It' s cute. A: (あいづち). Thank you. <引き出したい振り返り> C：自分のお気に入りの文房具の理由が伝えられました。 It is～やI like～を使って、伝えることができました。			

3	自分の筆箱の中にあるお気に入りの物について、より相手に伝わるように工夫しながら、理由や気持ちを伝え合うことができる。	○自分の筆箱の中にあるお気に入りの物について、どのような表現を使えば、相手により伝わるのか思考し、伝え合う。【ペアで話し合い、wordlist の活用（児童用 Chromebook）】 ○やり取りの様子を友達と撮影し合う。【動画撮影（児童用 Chromebook）】 【児童のゴールの姿】 A: This is my pencil case. I have a blue pen. B: Oh, nice! You have a blue pen! Why? A: I like blue. Do you have a blue pen? B: Yes, I do. A: Oh, good! It's cute! (ジェスチャー) B: My mother presented it (ジェスチャー). A: (あいづち). Thank you. <引き出したい振り返り> C: 今日は、自分のお気に入りの文房具と好きな理由について伝えました。ジェスチャーをすると相手により伝わったと思いました。〇〇さんがなぜあの鉛筆を入れているのかが分かりました。			
4	防災バッグの中身の言い方を知り、友達と伝え合うことができる。	○Small Talk 自分の筆箱の中身、お気に入りの物とその理由を紹介する。 ○防災バッグ（総合的な学習の時間で作成したカードを使用）に入れる必要な物の言い方を知り、I have～を使って、お互いの選んだ物を伝え合う。【カード操作・wordlist 活用（児童用 Chromebook の活用）】 ○やり取りの様子を友達と撮影し合う。【動画撮影（児童用 Chromebook）】 A: This is my emergency bag. I have a water bottle. Do you have a water bottle? B: Yes, I do. I have a blanket. Do you have a blanket? A: No, I don't. B: (あいづち). Thank you. <引き出したい振り返り> C: 文房具を伝えるのと同じ I have～. を使うと防災バッグの中身についても伝えられました。今度は、理由も聞いてみたいです。			

5	必要な防災バッグの中身を知ってもらうために、理由を加えて、友達と伝え合うことができる。	○Small Talk 自分の防災バッグの中身を紹介する。 ○自分が必要と思う防災バッグの中身を伝える際に、理由や気持ちを加えて伝え合う。 ○やり取りの様子を友達と撮影し合う。【動画撮影（児童用 Chromebook）】 A: This is my emergency bag. I have a water bottle, a blanket and a flashlight. B: Oh, you have a water bottle, a blanket, and a flashlight. Why do you have a water bottle? A: It's important. I drink water. Do you have a water bottle? B: Yes, I wash. (ジェスチャー) A: Oh, nice. <引き出したい振り返り> C: It's～. や、I drink. を使うと、必要だと思う理由や気持ちを伝えることができました。ALT の先生にもっと伝えてみたいです。 C: 質問をすることで、友達のことがもっとよく分かりました。			
6 (本時)	自分のことをよく知ってもらったり相手のことを知ったりするために、必要な防災グッズに加えて持っていきたい物について尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。	○Teacher's Talk 必要な防災グッズに加えて持っていきたい物について、どのような表現を使えば、相手により伝わるのか思考し、伝え合う。【ペアでの話し合い、wordlist の活用（児童用 Chromebook）】 ○やり取りの様子を友達と撮影し合う。【動画撮影（児童用 Chromebook）】 A: This is my emergency bag. I have a water bottle, a blanket and a flashlight. And my special item is <i>Yadon</i>. B: Oh, <i>Yadon</i>! Why? A: I sleep. I relax. B: Oh, you sleep. (Is it) Big? A: No, it's small. (ジェスチャー) Do you like <i>Yadon</i>? B: No, I don't. A: What <i>Pokemon</i> do you like? B: I like <i>Kabigon</i>. A: Oh, good! Thank you. <引き出したい振り返り> C: 質問したり、相手の言っていることを繰り返したりすることで会話を続けることができました。 C: 相手に伝わるようにするために、相手の反応や様子を見て、It's～. や I like～. を使って理由を付け足すことができました。 C: うまく伝えられないときは、ジェスチャーを使ったら上手に伝えることができました。			

7	必要な防災バッグの中身について、理由や気持ちを加えて、工夫しながらALTや友達と、伝え合うことができる。	○Small Talk 防災バッグの中身を理由も交えて紹介する。 ○ALTに防災バッグの中身（必ず必要な物3つ、持っていたい物1つ）について伝え合う。（ALTは紹介してもらったグッズのうち、2つの理由について尋ねる。） （5グループに分け実施。やり取りのないグループは、ペアで動画撮影を行ったり、他のグループのやり取りを聞き、表現を取り入れたりする。） ○単元全体の学習を振り返る。 A: This is my emergency bag. I have a water bottle, a blanket and a flashlight. And my special item is <i>Yadon</i>. B: Oh, you have a water bottle, a blanket, a flashlight and <i>Yadon</i>. Why do you have a water bottle? A: I cook. It's important. B: That's nice. Why do you have <i>Yadon</i>? A: I sleep. I relax. Do you like <i>Yadon</i>? B: No, I don't. A: What <i>Pokemon</i> do you like? B: I like <i>Kabigon</i>. A: Good! Thank you. <引き出したい児童の振り返り> C: 今日は、ALTの先生に自分が必要だと思う防災バッグの中身について伝えました。これまで勉強してきた言い方で理由を伝えると、ALTの先生に理解してもらうことができました。	や	や	や
---	--	--	---	---	---

7 本時の指導（6/7時間目）

（1）本時の目標

自分のことをよく知ってもらったり相手のことを知ったりするために、必要な防災グッズに加えて持っていきたい物について尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

（2）本時の評価規準

自分のことをよく知ってもらったり相手のことを知ったりするために、必要な防災グッズに加えて持っていきたい物について尋ねたり答えたりして伝え合っている／伝え合おうとしている。

※本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。

（3）展開

時間	学習活動	○指導上の留意点 ■本時の評価規準 [自己選択・自己決定するための手立て…太字]	生徒指導の3機能
1分	1 挨拶をする。	○明るい雰囲気が始まるように声をかける。	
38分	2 課題をつかむ。	○Teacher's Talkを行い、本時の課題をつかませる。前時の内容を使えば、必要な防災グッズに	自己存在感を与える

3 本日のめあてを知る。	加えて持っていきたい物の理由も伝えることができることに気付かせる。	
自分の「持っていきたい物」について工夫して伝え合おう。		
4 課題に向かって、付け加えたい表現を考える。 ①横ペアで伝え合う。 ②ICTを活用したり、横ペアで相談したりしながら必要な表現を増やす。	<確認したいポイント> ・I have～. My special is ～.の言い方。 (総合的な学習の時間で決めた「必要な防災グッズベスト3」に加え、本時は「必要な防災グッズに加えて持っていきたい物」を伝え合うことを確認する。) ・持っていきたい物について伝え、ペアは「持っていきたい物」に対する理由や思いを尋ねる。 ○必要な防災グッズに加えて持って行きたい物の理由や気持ちを伝えるためにどの表現を使うのか、これまでの単元を自分で振り返ったり、ペアで相談したり、Chromebookのwordlistを活用したりするなど自分自身で学びを選択し、表現を付け加えさせるようにする。 ○<word list> It' s important, warm, cold, delicious, dark, useful, helpful, big, hard, soft, light, long, short, small, dry, high, low I have/ Do you have band-aid, batteries, blanket, water bottle, clothes, food, emergency toilet, glasses, mask, money, radio, towel, I have, drink, sleep, eat, walk, go to, relax	自己決定の場を与える
5 防災バッグの中身を伝え合う。 ①横ペアで防災バッグの中身を伝え合う。 ②中間指導	中間指導 ○言いたかったけど言えなかった表現を共有する。 ○友達の見解を聞いて、取り入れたい考えがなかったか共有する。考えを聞いて、自分の選んだ物を変えてもよいことを伝える。 ○単語やジェスチャーなどでも自分の思いを伝えようとしている態度を評価する。	
A: This is my emergency bag. I have a water bottle, a blanket and a flashlight. And my special item is <i>Yadon</i>. B: Oh, <i>Yadon</i>! Why? A: I …sleep. えーつと、あ、I relax. B: Oh, you sleep. Big? A: No, イ、イ、it' s… small. (ジェスチャー) Do you like <i>Yadon</i>? B: No, I don' t. I like <i>Kabigon</i>. A: Oh, good. Thank you.		

	③横ペアで付け加えたい表現を考える。 ④再度横ペアで防災バッグの中身を伝え合う。 ⑤中間指導 ⑥縦ペアで動画の撮影を行う。	中間指導 ○モデルとなる児童を撮影しておき、良い点を共有する。特に、質問や相手が言っていることの繰り返しができているペアに注目し、やり取りを続けるポイントを児童に考えさせる。 ■自分のことをよく知ってもらったり相手のことを知ったりするために、必要な防災グッズに加えて持っていきたい物について、尋ねたり答えたりして伝え合っている／伝え合おうとしている。【行動観察・動画・振り返りシート】	共感的人間関係を育てる 自己存在感を与える
6分	6 振り返りを行う。 7 挨拶をする。	○防災バッグに必要な中身について、伝え合う際に、大切だと思ったポイントについて振り返らせる。 [児童から引き出したい振り返り] C: 質問したり、相手の言っていることを繰り返したりすることで会話を続けることができました。 C: 相手に伝わるようにするために、相手の反応や様子を見て、It's～. や I like～. を使って理由を付け足すことができました。 C: うまく伝えられないときは、ジェスチャーを使ったら上手に伝えることができました。	

8 板書計画

課

自分の「持っていきたい物」について工夫して伝え合おう。

Monday,
October 7th

Goal
デック先生に避難所に必要な防災グッズを伝え合おう。

お互いのことを知るために

理由

気持ち

It's

I

形容詞のカード

動詞のカード

Do you have~?

Do you like~?

What~

do you like?

do you have?

This is

my

I have~.

And

my special item is

防災バッグカード

グッズ①

グッズ②

グッズ③

児童のスペシャルアイテム

○子どもたちからでた表現

○コミュニケーションポイント

㊟ 振り返り